

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 黒須一夫
 幹事 大口弘和
 会報委員長 秋山茂則

No.43

ロータリーを楽しもう! ENJOY ROTARY!

1989~90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第385回例会 平成2年5月22日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 65名 出席 47名
 出席率 72.31%
 前回 5月15日(修正出席率) 100%

◇ ビジター紹介 4名

◇ お誕生日祝福

和田君(4/28)、小山君(5/15)、
 石田(耕)(5/27)

◇ ニコボックス

黒須 一夫君 次女直子歯科医師国家試験に合格して、大学院博士課程へ進みました。

松井 敬二君 ホームクラブごぶさたしました。結婚記念日祝い。

谷口 暢宏君、山本 真輔君 申し訳ありません。本日早退させていただきます。

大矢 佳正君 長らくごぶさたしてしまいました。

和田 正敏君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。

石田 耕嗣君、小山 雅弘君 誕生日祝い。

大口 弘和君、佐野 寛君 結婚記念日祝い。

◇ 大口幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。

2. 第276地区インターアクトクラブ協議会(7/22)開催のご案内がきておりますので参加希望の方は事務局までお申し込み下さい。

3. 名古屋栄RC認証状伝達式(6/16)がございまして、お知らせいたします。

◇ 黒須会長挨拶

“男性と女性の相違”

国民の健康の指標として、よく各国の平均寿命が比較されます。厚生省の統計情報部によれば、昭和63年簡易生命表で明らかになりました日本人の平均寿命はまたのび、男性75.54歳、女性81.30歳であります。女性が81歳をこえたことは世界で初めてであり、男性、女性そろって5年間つづけて世界最高の

長寿国となったことは、よろこばしいかぎりであります。

しかし、ここでいささか素朴な疑問が湧いてくるのは、どうして女性が男性より長生きできるのかであります。

近頃の若い女性、あるいは中年の婦人までもが、健康にみちあふれて、はちきれんばかりで、まぶしいかぎりです。

遭難した男女が深い雪山で、あるいは南海の孤島で生き残る場合も女性が多いようであります。

かつて、アメリカの原子爆弾のスパイ事件で、ローゼンバーグ博士夫妻の処刑の記録によれば、電気椅子にすわらされた夫君は1回で死亡したそうだが、夫人は3回も電気を通じる必要があったとのことであります。

これも、女性の脂肪の関係もあるであろう。

一般に外科の手術台で悲鳴をあげるの、筋骨たくましく、気丈なはずの男性に多く、比較的平然と手術の痛みにたえているのは女性の方が多。これは小児の場合でも同様であり、男性の方が恐怖心が強い傾向があります。

出血に対しても女性の方が抵抗性があり、これは女性が出血になれている関係だとか、女性は、動物的だとか、負け惜しみの屁理屈をつけているものがあります。

しかし、男性がお産をしなくてもすむだけでも仕合せであると思わざるを得ないとうめばれている男性、必ずしも頼もしくない場合が少なくありません。

男女同権の世の中で、男性優位を固持するために、昔の言い草の「女子と小人は養い難し」とか「女賢しゆうして牛を売り損う」などをひきあいに出そうものなら、抑眉をさかだてられ、その強力な反撃をうけます。今回某大臣の発言により、参議院の選挙にマドン

ナの進出が著しく、自民党の惨退の1因となったのは衆知の事実であります。

男とか女とか、世界中の人々がいろいろ議論している性差も、いつこの民族および国民においても、平均寿命が女性が長寿であることはまぎれもない事実であります。

ひるがえって、日本人の歯の平均寿命も最近、厚生省より発表されるようになりました。

昭和62年の歯科実態調査によれば、歯の寿命の最も短い歯は、男女とも下顎左の第2大臼歯で、男性43.3年、女性40.9年となっております。

歯の寿命の最も長い歯は男女とも、下顎の大臼歯で男性62.0(左側)、女性59.1(右側)である。これらによると寿命とは反対に、歯の寿命では男性優位であります。

日本人の平均寿命と歯の寿命とは必ずしも一致しないのは、歯無しの場合でも、すばらしい入れ歯によって、寿命をのばすことになっていると推論するのは、歯医者者の我用引水かもしれません。

地区大会報告

5月12日(土)大会本会議第1日

◇西川国際奉仕委員長

ロータリーミーティング 第一日午後(5月12日)

これからの国際奉仕—世界の中の日本—井元啓太コーディネーター(名古屋RC)

当地区では次のような国際奉仕活動を中心に奉仕活動を行っている。

(1)青少年交換 (2)世界社会奉仕(WCS)
(3)国際友好 (4)ボランティア WCSでは一人千円宛のほか総額八百万円の拠出金を基に各クラブ単独のプロジェクトとして、比国、タイで社会奉仕活動をし、九月に比国、二月にタイへ視察団が行った。上意下達でなく、To be international is to be national 優越感もなく劣等感もなく、堂々と寄贈することが肝要と思う。

佐伯 進パネラー(ノリタケ 名古屋RC)

日本は物(工業力)を海外に出さざるをえないが、発信基地としての意識が強過ぎ、受信基地ということをおぼえている。世界各国をどう受け入れるか。労働力なども受け入れないわけにいかない。経済力もこれを押さえる位にしないといけない。international maturity成熟、異国の文化と同じレベルで共存する。法律的にはいいが、習慣的にはやっていけない各国のモラル・プリンスプルがあり、他の国ではそれを守っている。

内藤明人パネラー(リンナイ 名古屋西RC)

ガス器具を外国へ売る仕事を十二ヶ国でやっている。こちらから出る人間は語学がで

きるだけでなく、Sincerity 真心のある人間であることが必要である。パートナーを選ぶにも真心のある人を選ばないで、ひどい目にあったことがある。日本はたまたまマイクロエレクトロニクスではうまくいったけれども、ロケット技術ではドイツが優れ、フランスはファンダメンタルをこつこつやっている。今後日本は本当の技術を開発しなければならない。

松永嘉夫パネラー(名市大教授名古屋南RC)

ロンドンのエコノミスト、ビル・エモットは、著書「日はまた沈む」で、日本は最近になって、消費者の国、快楽の国、輸入業者の国、投資家の国、年金生活者の国……になって、貯蓄率は低下しつつある。1990年中頃には日本の黒字は消え、資金余剰はなくなるという。しかし、私はそうは考えない。平和憲法のもとに日本は軍隊を持たないでやってきたので、GNP比率は低く、税金は安い。手許に金が残るから貯蓄する。余る金は海外へ出てゆく。最近のG7、IMFでも評価が変わって、日本に熱いマナザシを向けている。資金を海外に出すのに、必ず出し方によって相手に喜んで貰える。その一つは真心である。ただ、日本人は「モノづくりの天才」だが、ロボットがモノをつくるようになると、日本人の天才ぶりが発揮できなくなり、輸出できなくなる。モノ余り体質は変わらず、輸出はできないとなると、経済の活力がそがれる。そのときがこわい。

5月13日(日)大会本会議第2日

◇黒須会長

89~90年度第276地区大会は津島ロータリークラブをホストとして、5月12、13、14日にわたって、三重県長島温泉ホテル花木を大会場として開催されました。全員は約2,324名であります。

大会第1日 午後1時より本会議が始まり寺田大会委員長の開会のことば、主催者の盛田ガバナーの挨拶、R. I. 千宗室会長代理の挨拶があり、大会会議案を採択しました。

ロータリー・ミーティングは「これからの国際奉仕」—世界の中の日本—で、コーディネーター井元地区奉仕委員長の司会のもと、会員のパネラーは佐伯進(ノリタケカンパニーリミテッド社長)、内藤明人(リンナイ株式会社社長)、松永嘉夫(名古屋大学経済学部教授)の有意義なお話がありました。そのあと表彰式にうつり、1)意義ある業績賞、2)拡大賞、3)年間出席率100%クラブ、4)会員増強優秀クラブ、5)ロータリー財団寄与率10,000%達成クラブ、6)米山功労優秀クラブ、などがあり、本クラブも10,000%達成クラブ

の表彰をうけました。午後5時からR. I. 会長代理夫妻歓迎晩餐会がありました。

大会2日目 9:30 (AM) より本会議が始まり、物故会員追悼の黙禱、開会の辞、新クラブ(名古屋米ロータリークラブ、豊田三好ロータリークラブ)の紹介がありました。ついで出席クラブの紹介、ホストクラブ会長の歓迎のことば、盛田ガバナーの挨拶、千宗室R. I. 会長代理の国際ロータリーの現状報告、来賓祝辞(鈴木知事、山田津島市長)、登録委員会報告、選挙管理委員会報告、加納次期ガバナーノミニの挨拶、大会会議委員会報告と採択がありました。そのあとロータリー関係の表彰、青少年奉仕活動と紹介があり、ロータリー財団奨学生17名(日本人13名、外国人4名)、米山奨学生9名、青少年交換学生23名(外国人11名、日本人12名)、ローターアクトクラブ9名、インターアクトクラブ9名の紹介がありました。

12時から昼食になり、新ポールハリスフェロー、新米山功労者の昼食会も同時に行なわれました。

午後からはパネルディスカッション「女性の時代を考えるシンポジウム」は、コーディネーター遠藤利男氏(NHK理事、放送総局長)により、大宅映子氏(ジャーナリスト)、寺田千代乃氏(アート引越センター代表取締役)、今野由梨氏(ダイヤル・サービス株式会社代表取締役)によって行われ、会員に感銘をあたえました。

閉会式、点鐘後、アトラクションとして、由紀さおりショーがあり、ロータリーを楽しもうの地区大会がおわりました。

3日目の記念ゴルフ大会 桑名カントリークラブで午前8時より18Hストローク・ダブルペリア方式で行われました。

◇秋山会報委員長

女性の時代を考える(パネルディスカッション)

司会遠藤利男NHK放送総局長、パネリスト大宅映子(ジャーナリスト)寺田千代乃(アート引越センター社長)今野由梨(ダイヤルサービス社長)。3名のパネリストは、それぞれの分野でトップの地位を占められており、それぞれユニーク(男にない発想)なご意見が披露された。最初に異口同音に出たのが、このようなテーマでディスカッションをやっているうちは、本当の女性の時代とは云えないとのことでした。以下に3名の方々の発言を拾ってみました。

今野・より良い生活のための情報提供、生活者への思いを商品に反映してみたいと考え、この仕事をはじめた。寺田・男も女も社長の責任は一緒。大宅・男になりたくない、男は

気の毒だ。今野・男の経営者も女の経営者も変わらないと思う。視点、価値順位が女は人間優先におくが、男は利益優先。違う考え方を採り入れることが大切。大宅・男の人の云っていることはよくわからない。男は肩寄せ合って互いに傷付けたくない物を云う。それに比べ女はキツイ、男の経営者は窓際族を容認するが、女の経営者なら窓際族のようなプラスにならない存在は認めないだろう。男の発想はマクロ的で抽象的であり当らず触らずだ。寺田・これからは男と女の共同の時代と思う。男は仕事が義務だと考えているがその点女は任意と考えている。だから女は仕事はなれがしやすい。経済同友会に参加してよかった。初めは、どうゆう会かわからなかったが、男の経営者の世界を知ることができた。男も女も一緒と思った。女性初の同友会入りということでプレッシャーはあった。自分がうまくやらなければ(やっぱり女は駄目だとのイメージが生じ)後に続く人が育たない。女の時代だと云われる程には、実体は様替りしていないのではないか。事が旨く運ばないとき、それが女であるからとは考えない。

スーパーウーマンについて

大宅・呼び方がおかしい、世間はどう見てるか知らないが、私は家庭優先に考える。著名妻の夫は迷惑を感じているようだ。寺田・女が出ると主人が第三者から色々云われるため影響はある。外へ出るとどちらかに敵寄せはある。一緒に仕事をするのは難しいと思う。周囲の見方を変えて貰いたい。今野・米国に女性経営者の集りがある。色々調べた処、成功した人達は、子供の頃から父の強い影響があった。米国で女性が成功したときは、まず主人の協力が讃えられる。いずれにしても足を引張るような環境では女性経営者は育たない。収入、著名度が夫より上へ行きかける頃に問題が生じる。互に仕事のことはノータッチがよい。

これからの女性について

大宅・若い人達の行状を見ていると、取敢ず結婚して、保身をはかる。キャリアウーマンはグサイと考えているようで、女性の時代に逆行のおそれあり。今野・いまの私の仕事は後継者選び。しかし若い女性達は、責任はいやだが高給が欲しいであり、また仕事に対する価値観の違いを感じる。等後継者選びに危機感を抱いている。寺田・若い女性は責任あることがいやなようだ。以上発言を羅列しましたが、結論らしきものも出ない中に時間となってしまいました。

ロータリー 二つの飛躍

国際ロータリー第276地区ガバナー 盛田和昭



1905年創立以来、ロータリーは幾つかの基本原則を忠実に守って参りました。その内の職業分類に対する考え方、テリトリーに対する考え方は、最近の拡大方針に従って随分弾力的に運用される様になっては参りましたが今尚ロータリーの大きな特徴です。しかし今迄かたくなに守り続けられてきた会員資格、即ち成人男子なる言葉が消えて遂に女性に解放されたことは正に創立以来の大改革であり、時代

の流れとは申せ大きな飛躍と言っても良いのではないのでしょうか。既に日本のクラブにも10名以上の女性会員がある様です。残念乍ら当地区にはまだありませんが時間の問題でしょう。

今一つの大きな飛躍は、ポーランド、ハンガリーの所謂東欧圏が民主化の波と共にロータリークラブを復活して我々を驚かせたのに続き、今回遂にソ連に史上初のロータリークラブが誕生致しました。ゴルバチョフが大統領に就任し新しい憲法のもとで新しいソ連が生まれたとは言え、これ程早くロータリークラブが出来るとは予想致しませんでした。数多くある奉仕団体の中で、ロータリーがトップを切ってソ連に誕生したことは大きな意義を持つものです。

私は従来、ロータリーはインターナショナルと言いつつ西側国のみに限られている以上、真にインターナショナルとは言いがたいと言ってきましたが、この問題が解決されたことは正に大きな飛躍であり成功であります。これ迄西側諸国の男子のみに限られてきたロータリーが、全世界のすべての成人に会員資格が出来たことは一挙に4倍の可能性を持つことになるからです。

ソ連のロータリー加入についてR.I.より速報が参りましたのでそのままお伝えします。

今週の言葉

「見賢思齊」
賢を見て齊しからんと思ひ、
不賢を見ては内に自ら省みる。

久保田 皓

"Today is the first day
of the rest of your life."

水野 賀統

素直な心で、素直に現実をみつめよう。

白井 基久

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋栄RC 6/18(月)チャーターナイトの為、6/16(土)PM6:00より
- 名古屋名東RC 6/19(火)創立記念日夜間例会の為、6/20(水)PM6:00より
- 名古屋瑞穂RC 6/21(水)夜間例会(下期反省会)の為、かすが荘にてPM6:00より
- 名古屋東南RC 6/21(木)ファイアーサイドミーティングの為、名鉄ニューグランドホテルにてPM6:00より
- 名古屋空港RC 6/25(月)F.S.M.の為、PM6:00より
- 名古屋西RC 6/28(木)夜間例会の為、PM5:30より

◇次回例会(5月29日)

講演 "第4回 美シリーズ 茶"
「お茶の美」

松尾流家元

松尾 宗典 氏 (紹介 水野(民)君)

◇次々回例会(6月5日)

講演 "第5回 美シリーズ
私のシルクロード"

「シルクロード・バーミヤン紀行」

会員 林 淳三君